

9/20

## 4年間の努力が実る！ 人工巣穴にはんざけが産卵



「はんざけの赤ちゃんだ！」まだ水の冷たさが

心地いい9月20日（日）、日野川源流域に喜びの声が響きました。自然の中での活動を通じて自分たちの住む地域の自然を考え守りたい、と2011年の設立から活動が続いている「多里はんざけを守る会（会長：面田洋一さん）」が、河川清掃活動と、4年ぶりに産卵が確認された人工巣穴での岡田純さん（NPO法人日本ハンザキ研究所理事長）の調査に立ち会い観察会を行いました。面田会長は、豊かな自然を子どもたちに伝え、はんざけとも共生する町を目指し、楽しくをモットーに活動が続けていきたいと話されました。

※はんざけ／はんざき＝国の特別天然記念物オオサンショウウオの地方名。  
写真提供：多里はんざけを守る会&日本ハンザキ研究所

10/5

## 日野上に グラウンドゴルフ練習場が完成

旧日野上小学校移転後は「まなび宿ひのかみ校庭」として利用されていたグラウンドが新しく生まれ変わりました。町内の皆様が気軽に使える場所になればという思いから日野上老人クラブ連合会（会長：足羽正敬さん）の方々が有志で整備されました。



グラウンドには2コースが設備され、老人クラブと日野上まちづくり協議会で運営していく予定です。

9/21

## 奉納米の稲刈り式

印賀の水田で「抜穂祭」が開催され、水田を管理する農業法人米風土鳥取株式会社（高橋隆造代表取締役社長）や地域の方々が参加されました。「抜穂祭」とは三重県の伊勢神宮でひらかれる新嘗祭に供える稲を収穫する祭りで、水田のオーナーである郡山龍・巖島神社宮司が執り行いました。田んぼを管理してきた米風土鳥取株式会社の藤原恵司さんは「コロナ禍でささやかな形になったが来年は賑やかに行いたい」と話されました。



10/7

## きりん組の田んぼに実がなった！

田植え体験と看板づくりを行い“きりん組の田んぼ”となった前田昭彦さんが管理されている田んぼ（霞）で、にちなん保育園年長児きりん組の皆が稲刈り体験を行いました。鎌で稲を刈る姿を見た子ども達は「やってみたい！」と、次々と稲刈りに挑戦しました。その後コンバインでの稲刈りを見学し、迫力に大興奮でした。収穫したお米の一部は保育園に届けられる予定です。



10/11

## 石見神社秋季大祭 華麗な巫女舞奉納も

今年も石見神社秋季大祭が開催されました。恒例の子供神宮は密を避けるため中止され、来年に予定されている大型紙相撲大会のプレ大会が行われました。華麗な巫女奉納をはじめ、七五三祭に4組が参加する等、華々しい祭りとなりました。参加者は「コロナ禍ではあるが、天気も良く、こうして開催されて良かった」と話されました。

